

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	09011-1	事業名	防火水槽整備事業	部名	消防本部
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造			室名	消防総務室
	基本施策	05:防災力の強化			財	会計 一般会計
	施策の方向	05:消防力の充実・強化			務	款 消防費
	戦略プロジェクト				科	項 消防費
					目	目 消防施設費

② 目的・概要	対象	市民、消防職員
	目的	火災防ぎょ活動を迅速・的確に実施するため、消防水利の基本である防火水槽を計画的に新設し消防力の充実強化を図ることを目的とする。
概要	建築物の密集状況及び地域間のバランス等を勘案し防火水槽(40㎡以上)を設置する。	

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	①	名称	各年度防火水槽設置計画数	計画値		
			補足		実績値	2	3
		単位			基	基	基
	成果	①	名称	各年度防火水槽設置完了数	計画値		
			補足		実績値	2	0
		単位			基	基	基

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	・田村町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置 (平成25年度からの繰越事業) ・和田町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置 (平成25年度からの繰越事業) ・アイリス町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置 (平成25年度からの繰越事業) ・長明寺町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置 ・辺法寺町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置 (平成27年度への繰越事業)		
		国庫支出金		29,048	22,022	総人件費 ①	1,332	平均給与額×③
		県支出金		5,000	5,400	一般職員人件費 ②	1,332	
		地方債		6,800	0	所要人員 ③	0.18	
		その他		2,700	3,013	臨時職員人件費 ④		
		一般財源		13,548	13,609	受益者負担額 ⑤		受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥
		再	翌年度への繰越額		3,491			
		掲	前年度からの繰越額		13,363	11,914		
			総人件費	①		1,332		
			総コスト	⑥		23,354		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成25年度から繰越しとなった3基を含む4基を設置し、消防水利の充実が図れたが、1基は年度内に工事が完了できなかった。	総合判定	B
				まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	消防庁の「消防施設整備実態調査」では、本市の消防水利の充足率は50.6%と、県平均(82%)よりも低率であるため、今後の消防水利の整備促進が喫緊の課題である。 なお、平成26年度事業は、本来の設置計画分に加えて昨年度からの繰越事業があったこと及び関係機関との調整に時間を要した案件があり、1基が繰越事業となった。
	【改善の方向性】	消防水利の充足率を向上するために、防火水槽の計画的な整備を推進する。 また、年度内に事業が完了できるよう、予算の執行方針に基づいた施行を徹底する。 さらに、整備にあたっては、より有利な財源の確保に努める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 宮崎 郁太郎
--------------	---------	------------------------